

番 号  
年 月 日

大阪府知事 様

設置者

住所（法人又は団体にあつては所在地）

氏名（法人名又は団体名及び代表者氏名）

指定保育士養成施設の指定に関する計画書

標記について、児童福祉法施行令第5条第2項及び児童福祉法施行規則第6条の3第1項の規定に基づき、関係書類を添えて提出します。

## 指定保育士養成施設計画書【新規設置】

設置者 法人の場合は 名称、所在地	氏名	学校法人〇〇			
	住所	〒123-4567〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 (連絡先 012-345-6789)			
名称(注1)	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇課程				
位置	大阪府〇〇市〇〇1-2-3(連絡先 06-1234-5678)				
設置年月日	令和**年**月**日				
学校又は施設の長の氏名	〇〇 〇〇		事務担当者氏名	〇〇 〇〇	
修業年限及び定員	修業年限	昼間部 2年			
	入学定員	1学級 40名×1学級=40名			
	編入学定員 (●年次)	10名			
	学生定員	1学級 40名×4学級=160名			
教員の氏名・担当科目・専任兼任の別(注2)	専任教員	教科担当 専任教員	氏名	担当科目	頁番号
	その他の教員 (兼任)	保育の本質・目的	〇〇 〇〇	保育原理	1
		保育の対象理解	・ ・	・ ・	・ ・
		保育内容 方法			
		保育実習			
		△△ △△	乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ		
		・ ・	・ ・	・ ・	

(注1)名称は、指定を受けようとする学部・学科名等最小単位まで正確に記載すること。

(注2)頁番号は、教員調書の右上に記載されている「No.」と同じ番号を記入すること。

番 号  
年 月 日

大阪府知事 様

設置者

住所（法人又は団体にあつては所在地）

氏名（法人名又は団体名及び代表者氏名）

指定保育士養成施設の指定に関する申請書

標記について、児童福祉法施行令第5条第2項及び児童福祉法施行規則第6条の3第1項の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

## 指定保育士養成施設申請書【新規設置】

設置者 法人の場合は 名称、所在地	氏名	学校法人〇〇		
	住所	〒123-4567〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 (連絡先 012-345-6789)		
名称(注1)	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇課程			
位置	大阪府〇〇市〇〇1-2-3(連絡先 06-1234-5678)			
設置年月日	令和**年**月**日			
学校又は施設の長の氏名	〇〇 〇〇		事務担当者氏名	〇〇 〇〇
修業年限及び定員	修業年限	昼間部 2年		
	入学定員	1学級 40名×1学級=40名		
	編入学定員 (●年次)	10名		
	学生定員	1学級 40名×4学級=160名		
教員の氏名・担当科目・専任兼任の別(注2)	教科担当 専任教員	氏名	担当科目	頁番号
	保育の 本質・目的	〇〇 〇〇	保育原理	1
	保育の 対象理解	⋮	⋮	⋮
	保育内容 方法			
	保育実習			
その他の教員 (兼任)		△△ △△	乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ	
		⋮	⋮	⋮

(注1)名称は、指定を受けようとする学部・学科名等最小単位まで正確に記載すること。

(注2)頁番号は、教員調書の右上に記載されている「No.」と同じ番号を記入すること。

番 号  
年 月 日

大阪府知事 様

設置者

住所 (法人又は団体にあつては所在地)

氏名 (法人名又は団体名及び代表者氏名)

指定保育士養成施設の定員変更に関する計画書

年 月 日 第 号により指定を受けた施設について、児童福祉法施行令第5条第3項及び児童福祉法施行規則第6条の3第2項の規定に基づき、関係書類を添えて提出します。

1 変更する事項

2 変更する事項の変更前後の比較  
変更前

変更後

3 変更の理由  
※別添理由書による

4 変更の時期

年 月 日

## 指定保育士養成施設計画書【定員増の場合】

設置者 法人の場合は 名称、所在地	氏名	学校法人〇〇			
	住所	〒123-4567〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 (連絡先 012-345-6789)			
名称(注1)	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇課程				
位置	大阪府〇〇市〇〇1-2-3(連絡先 06-1234-5678)				
設置年月日	令和**年**月**日				
学校又は施設の長の氏名	〇〇 〇〇		事務担当者氏名	〇〇 〇〇	
修業年限及び定員	修業年限	昼間部 2年			
	入学定員	現行	1学級 40名×1学級=40名		
		変更後	1学級 40名×2学級=80名		
	編入学定員 (●年次)	現行	10名		
		変更後	10名		
	学生定員	現行	1学級 40名×4学級=160名		
変更後		1学級 40名×8学級=320名			
教員の氏名・担当科目・専任兼任の別(注2)	専任教員	教科担当 専任教員	氏名	担当科目	頁番号
		保育の 本質・目的	〇〇 〇〇	保育原理	1
		保育の 対象理解	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
		保育内容 方法			
		保育実習			
	その他の教員 (兼任)		△△ △△	乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ	
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・

(注1)名称は、指定を受けようとする学部・学科名等最小単位まで正確に記載すること。

(注2)頁番号は、教員調書の右上に記載されている「No.」と同じ番号を記入すること。

番 号  
年 月 日

大阪府知事 様

設置者

住所（法人又は団体にあつては所在地）

氏名（法人名又は団体名及び代表者氏名）

指定保育士養成施設の定員変更に関する申請書

年 月 日 第 号により指定を受けた施設について、児童福祉法施行令第5条第3項及び児童福祉法施行規則第6条の3第2項の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

1 変更する事項

2 変更する事項の変更前後の比較  
変更前

変更後

3 変更の理由  
※別添理由書による

4 変更の時期

年 月 日

## 指定保育士養成施設申請書【定員増の場合】

設置者 法人の場合は 名称、所在地	氏名	学校法人〇〇			
	住所	〒123-4567〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 (連絡先 012-345-6789)			
名称(注1)	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇課程				
位置	大阪府〇〇市〇〇1-2-3(連絡先 06-1234-5678)				
設置年月日	令和**年**月**日				
学校又は施設の長の氏名	〇〇 〇〇		事務担当者氏名	〇〇 〇〇	
修業年限及び定員	修業年限	昼間部 2年			
	入学定員	現行	1学級 40名×1学級=40名		
		変更後	1学級 40名×2学級=80名		
	編入学定員 (●年次)	現行	10名		
		変更後	10名		
	学生定員	現行	1学級 40名×4学級=160名		
変更後		1学級 40名×8学級=320名			
教員の氏名・担当科目・専任兼任の別(注2)	教科担当 専任教員	氏名	担当科目	頁番号	
	保育の 本質・目的	〇〇 〇〇	保育原理	1	
	保育の 対象理解	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	
	保育内容 方法				
	保育実習				
	その他の教員 (兼任)		△△ △△	乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ	
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・

(注1)名称は、指定を受けようとする学部・学科名等最小単位まで正確に記載すること。

(注2)頁番号は、教員調書の右上に記載されている「No.」と同じ番号を記入すること。



## 施設長履歴書

養成施設名				
氏名		性別	男・女	
生年月日		年齢	歳	
住所				
施設 長 資 格 要 件	学 歴	年月	事項	
格 要 件	教育 歴・ 職 歴	名称	教育内容又は業務内容	年月
格 要 件	資 格・ 免 許・ 学 位	名称	取得機関	取得年月日
主な研究発表又は論文、その他業績		名称		年月

(別紙6)

## 施設長就任承諾書

年 月 日

申請者名 様

氏名

私は、指定保育士養成施設〇〇大学〇〇学部〇〇学科において当該指定保育士養成施設の施設の長に就任することを承諾します。

就任期日

令和 年 月 日

## 教 員 調 書

No. \_\_\_\_\_

養成施設名					
氏 名		性 別	男・女		
生 年 月 日		年 齢	歳		
担当予定科目		専兼の別	専任・兼任		
教 員 資 格 要 件	指 定 基 準 該 当 番 号				
	学 歴	年 月	事 項		
	教 育 歴 ・ 職 歴	名 称	教育内容又は業務内容	年 月	
	資 格 ・ 免 許 ・ 学 位	名 称	取 得 機 関	取得年月日	
担当予定科目に 関する主な研究 発表又は論文、そ の 他 業 績		名 称	年 月		

(注)各教員ごとに作成すること。

(別紙8)

# 就 任 承 諾 書

年 月 日

申請者名 様

氏名 ○○ ○○

私は、指定保育士養成施設○○大学○○学部○○学科において、下記科目を担当する(専任又は兼任の別)教員として就任することを承諾します。

## 記

1. 担当科目           ○○論、○○論、…
2. 就任期日           令和 年 月 日

## 学則に関する注意事項

学則の主な項目	留意点
1 設置目的	
2 名称	・学科、専攻、コース名まで明記すること。
3 位置	・養成施設の所在地を明記すること。
4 修業年限	・昼間部、昼夜開講制は2年以上 ・夜間部、昼間定時制部、通信教育部は3年以上
5 修業教科目単位数及び履修方法	△「児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法」(平成13年厚生労働省告示第198号)に掲げる教科目・単位数及び履修方法を明記すること。
6 学生定員	・学生の定員は原則100人以上であること。
7 入所資格	・学校教育法による高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 ・指定保育士養成施設の指定を受けようとする学校が大学である場合における当該大学が学校教育法第90条第2項の規定により当該大学に入学させた者 ・通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者も含む。) ・文部科学大臣において上記の3つと同等以上の資格を有すると認定した者
8 単位の算定方法	・大学等設置基準に定める単位の算定方法によること。
9 学年、学期及び休業日に関する事項	・日曜・祝日、夏季・冬季休業、創立記念日等を明記すること。 ・学期の開始及び終了日を明記すること。
10 部科及び課程の組織に関する事項	・内容を明記すること。
11 授業日時数に関する事項	・単位の算定方法を踏まえた日数及び時間数を明記すること。
12 学習の評価に関する事項	・履修の認定方法を明記すること。 △追試験及び再試験の方法を明記すること。
13 職員組織に関する事項	・内容を明記すること。
14 退学、転学、休学及び卒業に関する事項	・内容を明記すること。
15 授業料、入学料、その他の費用徴収に関する事項	・内容を明記すること。 ・周辺地域とのバランス等を勘案し、適当な金額とすること。
16 賞罰に関する事項	・内容を明記すること。

注 △印については細則等での明記も可。

教科目名称の読み替え表

系列	告示による教科目		指定保育士養成施設における教科目の開設状況(旧)				指定保育士養成施設における教科目の開設状況等(新)				備考 (変更内容の概要等)					
	教科目	授業形態	単位数	授業形態	単位数	必修	選択	計	授業形態	必修		選択	計			
教 養 科 目	外国語、体育 以外の科目	不問	6以上													
	外国語	演習	2以上													
	体 育	講義	1													
		実技	1													
	合 計		10単位以上													

——単位(≧10単位)

(注) 1 告示等に定める教科目のうち、2科目以上を合わせて1科目として開設してある場合における単位数欄の記入方法は以下のとおり。

(例) 「保育原理」と「保育者論」を合わせて「保育原理(4単位)」として開設してある場合

↓  
「保育原理」と「保育者論」の単位数欄にそれぞれ「2/4」と記入

2 その他、告示と異なった学校独自の取扱いをしている場合には、備考欄にその内容を記入すること。



系列	告示別表第2による教科科目		指定保育士養成施設における教科科目の開設状況(旧)				指定保育士養成施設における教科科目の開設状況(新)				備考 (変更内容の概要等)	
	教科科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科科目	授業形態	必修	選択	計	授業形態	必修		選択
保育学的に 関する科目	各指定保育士養成施設において設定	15単位以上										
保育の 対象の理 解に関する科目												
保育の 内容・方 法に関する科目												
保育 実習	保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ	実習	2									
	保育実習指導Ⅱ又は 保育実習指導Ⅲ	演習	1									
合 計			18単位以上									

単位(≧18単位)



備考 (変更内容の概要等)	指定保育人養成施設における教科目の開設状況(旧)				指定保育人養成施設における教科目の開設状況(新)				
	単位数(旧)		単位数(新)		単位数(旧)		単位数(新)		
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
保育人資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている教科目									
合計									

教科目の種別	設置単位数	単位数(旧)		単位数(新)		備考 (変更内容の概要等)
		必修	選択	必修	選択	
教養科目	10単位以上					
告示別表第1による教科目	51単位以上					
告示別表第2による教科目	18単位以上					
小計						
保育人資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている教科目						
合計						
卒業に必要な単位数						

養成施設の概要

入学生員 (学生定員)	旧	新	備考
	( ) 人	( ) 人	
修業年限	年	年	

## 授業概要(半期の場合の様式例)

授業のタイトル(科目名) (告示等による教科目名) ( )		授業の種類  (講義・演習・実習)	授業担当者
授業の回数	時間数(単位数)	配当学年・時期	必修・選択
[授業の目的・ねらい]			
[授業全体の内容の概要]			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数			
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
[使用テキスト・参考文献]		[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など)	

## 時 間 割

( 年 期)

曜日	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
クラス名	Aクラス	Bクラス	Aクラス	Bクラス	Aクラス	Bクラス	Aクラス	Bクラス	Aクラス	Bクラス
1限目  00:00 ~ 00:00	教科目名									
	教員名									
	教室名									
2限目  00:00 ~ 00:00										
3限目  00:00 ~ 00:00										
4限目  00:00 ~ 00:00										
5限目  00:00 ~ 00:00										

※必要に応じてクラス数を増・減して差し支えない。

※原則本様式で提出すること。

学習進度計画表

( 学年 )

教科目名	4月					5月					6月					7月					8月					9月					10月					11月					12月					1月					2月					3月				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
	年間 コマ数 合計																																																											
教科目																																																												
外国語(演習)																																																												
体育(講義)																																																												
体育(実技)																																																												
その他																																																												
保育原理(講義)																																																												
保育原理(講義)																																																												
子ども家庭福祉(講義)																																																												
社会福祉(講義)																																																												
子ども家庭支援論(講義)																																																												
社会的養護Ⅰ(講義)																																																												
保育者論(講義)																																																												
保育の心理学(講義)																																																												
子ども家庭支援の心理学(講義)																																																												
子どもの理解と援助(演習)																																																												
子どもの食と栄養(演習)																																																												
保育の計画と評価(講義)																																																												
保育内容総論(演習)																																																												
保育内容演習(演習)																																																												
保育内容の理解と方法(演習)																																																												
乳児保育Ⅰ(講義)																																																												
乳児保育Ⅱ(演習)																																																												
子どもの理解と安全(演習)																																																												
障害児保育(演習)																																																												
社会的養護Ⅱ(演習)																																																												
子育て支援(演習)																																																												
保育実習Ⅰ(実習)																																																												
保育実習指導Ⅰ(演習)																																																												
保育実践演習(演習)																																																												
選択必修科目																																																												
保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ(実習)																																																												
保育実習指導Ⅱ又は 保育実習指導Ⅲ(演習)																																																												

春休み

冬期休暇

夏季休暇

※枠内には、各週ごとにコマ数の合計を記入すること。  
※マス目にはコマ数を記入すること。(例)1,2,3,4...

# 学則変更内容調書

学則変更内容 について\*

\*該当するものを下記①～④から選んでください

- ① 修業教科目、② 単位数、③ 履修方法、④ 学生の定員

今回、行う学則変更の内容の概要	学則変更を行う理由
	<p>(1)なぜ、学則変更が必要であったのか (2)学則変更を行うことによつてどのようなメリットがあるのか (3)変更内容が妥当であるのか、具体的に記載してください。</p>

<p>上記変更内容の 妥当性の判断 (都道府県で記入)</p>	
---	--

備 品 一 覧

階 数	設 置 場 所	備 品	数 量	備 考

他の学科等と共用の備品は、備考欄に「〇〇学科と共用」と記載すること。









## 実習施設承諾書

年 月 日

申請者名 様

設置者(法人) 社会福祉法人 ○○○会  
所在地 ○○県○○市○○町1-2-3  
代表者名 理事長 ○○ ○○

下記施設は、指定保育士養成施設○○大学○○学部○○学科の実習施設として、実習生を受け入れることを承諾いたします。

記

施設種別は、法令の規定に基づく名称を正確に記載すること。

1 施設種別	保育所
2 施設名	○○保育園
3 定員	○名
4 実習生の受入開始時期	○年○月より
5 実習受入可能時期	○月○日～○月○日
6 実習指導者の人数	○名
7 実習受入人数	○名

当該実習施設における1日当たりの受入人数を記載のこと。

実習巡回指導計画表

○年次第○段階

○月○日～○月○日(○週間○日間)

※「○月の第1月曜日から2週間 計10日」という記入でも可

実習施設名	人数	○月○日 (月)	○月○日 (火)	○月○日 (水)	○月○日 (木)	○月○日 (金)	○月○日 (土)	○月○日 (日)	○月○日 (月)	○月○日 (金)
○○保育園	2人		A		A		休み	休み		
△△保育園	2人	B			B		休み	休み	B	
□□保育園	3人		A		A		休み	休み		
☆☆保育園	1人	B			B		休み	休み	B	
○○認定こども園	3人			B		B	休み	休み		B
△△認定こども園	4人		C			C	休み	休み		C
○○乳児院	1人		C			C	休み	休み		C
児童養護施設○○園	1人	B			B		休み	休み	B	
以下続く										
※種別ごとに施設を まとめること。										

巡回教員、A…○○ B…△△ C…□□ (アルファベットに対応した教員の実名を記入すること)

※学年ごと、実習を実施する期間ごとに作成すること。

※「人数」欄には、予定の学生数を記入すること。

番 年 月 日  
号

大阪府知事 様

設置者

住所（法人又は団体にあつては所在地）

氏名（法人名又は団体名及び代表者氏名）

指定保育士養成施設の定員変更（定員減）に関する申請書

年 月 日 第 号により指定を受けた施設について、児童福祉法施行令第5条第3項及び児童福祉法施行規則第6条の3第2項の規定に基づき、関係書類を添えて提出します。

1 変更する事項

2 変更する事項の変更前後の比較  
変更前

変更後

3 変更の理由  
※別添理由書による

4 変更の時期

年 月 日

## 指定保育士養成施設申請書【定員減】

設置者 法人の場合は 名称、所在地	氏名	学校法人〇〇		
	住所	〒123-4567〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 (連絡先 012-345-6789)		
名称(注1)	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇課程			
位置	大阪府〇〇市〇〇1-2-3 (連絡先 06-1234-5678)			
設置年月日	令和**年**月**日			
変更年月日	令和**年**月**日			
学校又は施設の長の氏名	〇〇 〇〇	事務担当者氏名	〇〇 〇〇	
修業年限及び定員	修業年限	昼間部 2年		
	入学定員	現行	1学級 40名×2学級=80名	
		変更後	1学級 40名×1学級=40名	
	編入学定員 (●年次)	現行	10名	
		変更後	10名	
	学生定員	現行	1学級 40名×8学級=320名	
変更後		1学級 40名×4学級=160名		
教員の氏名・担当科目・専任兼任の別(注2)	教科担当 専任教員	氏名	担当科目	頁番号
	保育の 本質・目的	〇〇 〇〇	保育原理	1
	保育の 対象理解	・ ・	・ ・	・ ・
	保育内容 方法			
	保育実習			
その他の教員 (兼任)		△△ △△	乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ	8
		・ ・	・ ・	・ ・

(注1) 名称は、指定を受けようとする学部・学科名等最小単位まで正確に記載すること。

(注2) 頁番号は、教員調書の右上に記載されている「No.」と同じ番号を記入すること。

大阪府知事 様

設置者

住所 (法人又は団体にあつては所在地)

氏名 (法人名又は団体名及び代表者氏名)

指定保育士養成施設の変更承認申請書

標記について、児童福祉法施行令第5条第3項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

- 1 設置者の氏名及び住所又は名称及び主たる事務所の所在地  
設置者の氏名 (名称)  
住所 (主たる事務所の所在地)
- 2 指定保育士養成施設の名称及び位置  
指定保育士養成施設の名称  
位置
- 3 設置年月日  
年 月 日
- 4 学則変更期日  
年 月 日
- 5 学則変更部分の新旧対照表、新学則及び旧学則
- 6 教科目名称の読み替え表
- 7 学則変更内容調書
- 8 授業内容の概要
- 9 学習進度計画表
- 10 理事会議事録

番 年 月 日  
年 月 日

大阪府知事 様

設置者

住所 (法人又は団体にあつては所在地)

氏名 (法人名又は団体名及び代表者氏名)

指定保育士養成施設の指定取消申請書

年 月 日 第 号により指定を受けた施設について、  
児童福祉法施行令第 5 条第 7 項の規定に基づき、関係書類を添えて  
提出します。

(別紙)

1. 指定取消を受けようとする養成施設

【名称】 指定書に記載されているとおり正確に記載すること。  
(学科、専攻及びコース名等、最小単位まで記載すること。)

【位置】

【設置年月日】 指定保育士養成施設の授業を開始した年度の4月1日を記載すること。(学校の開校日ではないこと。)

2. 指定の取消しを受けようとする理由

○過去5年間の入学状況

入学年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
志願者数	人	人	人	人	人
合格者数	人	人	人	人	人
定員	人	人	人	人	人
入学者数	人	人	人	人	人

※令和4年度に取り消す際の例。

3. 指定の取消を受けようとする予定期日

4. 在学中の学生の措置について※別添でも可

5. 廃止後の学籍簿等の保管方法及び卒業証明書等の発行に係る業務の取扱い

6. 添付書類

- ・ 指定の取り消しを決した議事録
- ・ 担当者の氏名及び連絡先 (文書の送付先、電話番号、FAX番号、メールアドレス)



番 号  
年 月 日

大阪府知事 様

設置者

住所（法人又は団体にあつては所在地）

氏名（法人名又は団体名及び代表者氏名）

指定保育士養成施設の記載事項変更届出書

年 月 日 第 号により指定を受けた施設について、児童福祉法施行令第5条第4項及び児童福祉法施行規則第6条の3第3項の規定に基づき、関係書類を添えて提出します。

1 変更する事項

2 変更する事項の変更前後の比較  
変更前

変更後

3 変更の理由  
※別添理由書による

4 変更の時期

年 月 日